

女性活躍の時代へ ～ 女性の感性で新たな市場の拡大を！～

～第 6 回「九州の未来力 2030」を踏まえた一言提言～



<谷口博文>

● 女性が意思決定の 1/2 に参画するのは当然！

人口の半分が女性である以上、意思決定の 1/2 に参画することは当然のこと。海外でも、スピードの違いはあってもベクトルは同じ方向を向いているのであって、求めるものが多様性なら、日本でもクォータ制に反対する理由はないと思います。

● 女性の潜在力をフルに発揮できるような税・社会保障・労働市場の一体改革を！

女性の潜在力を社会でフルに発揮し、働くインセンティブを高めるように労働環境等が整備されれば、市場の拡大が期待できます。そのためには、多様な正社員制度（職務、勤務地、勤務時間限定）の普及等が課題となります。また、労働市場への参入を促すような税・社会保障・労働市場の一体改革が求められます。



<益村眞知子>



<村山由香里>

● 女性の感覚は既成概念を打ち砕く！

男性と女性に能力の差はないはずなのに、多くの職場は男性中心の職場です。これほどまでも女性が活躍しない社会をつくっていること自体おかしいということに、いまやっと日本は気づいたようです。

夫が働き、妻は専業主婦かパート程度。もしくは、たとえ妻が夫と同じようにフルタイムで働いていても家事育児は主に妻が担うという習慣。ここを崩すべく踏み込まないと「女性活躍」は絵に描いた餅に終わるでしょう。

女性の感覚は、既成概念を打ち砕き、新しい働き方、新しいビジネスの広がりをもたらすはずです。

● 女性が活躍しない会社（社会）に未来はない！

これからの時代、企業が成長するためにも、また、活力ある社会を維持していくためにも、女性の活躍が必要不可欠です。例えば、男女問わず、子育てを前提にした勤務体制に変える等、働き方や社会の仕組みを変えていく必要があります。



<長谷川 靖>



<嶋津 祐一>

● 女性の活躍の場を増やすために、丁寧なコミュニケーションを！

女性の活躍の場を増やすのは、社会システムの改革に加え、各職場ベースの丁寧なコミュニケーションがまずは大切！